



## 富山市・OECD 都市の国際ラウンドテーブル ～高齢社会におけるしなやかで強靱な都市づくり～

本ラウンドテーブルは、高齢化に取り組む都市、民間企業、学界、国や国際機関の対話プラットフォームを提供するものである。

本市も参加し、「歩いて暮らすまちづくり」の取組みについて発表し、意見交換を行う。

### 1 背景

- (1) OECD（経済協力開発機構）諸国では65歳以上の高齢者の割合は、2010年の19.0%から、2050年までに23.7%に増加することが予測されている。
- (2) 今年5月に開催されたOECD閣僚理事会において、高齢化への対応の重要性が再認識され、レジリエンス（変化に耐えるしなやかさ、強靱さ、回復力）の構築をあらゆるレベルの社会・経済で実現するに当たって、都市行政が主要な役割を果たすことが確認された。

### 2 目的

- (1) レジリエントな経済や包括的な社会を実現するための取組み経験を共有する。
- (2) 関係者の連携の下で行うべき、今後の具体的な行動について議論する。

### 3 会議名

「都市の国際ラウンドテーブル～高齢社会におけるレジリエントな都市～」

### 4 主催

富山市、OECD

### 5 日程

平成26年10月17日（金）午前9時～午後4時

#### 〈スケジュール〉

時間	内容
9:00～	<b>オープニングセッション</b> <b>オープニングプレゼンテーション</b> OECD公共ガバナンス・地域開発局長 ロルフ・アルター 氏
9:45～	<b>セッション1</b> <b>「高齢社会が都市の持続可能な成長に与える影響」</b> 議長 富山市副市長 神田昌幸 氏 発言者 千葉大学法政政経学部教授 広井良典 <sup>よしのり</sup> 氏 ほか
11:30～	<b>セッション2</b> <b>「高齢社会において都市はどのようにレジリエントな社会経済づくりに貢献できるか」</b> 議長 東京大学高齢社会総合研究機構教授 秋山弘子 氏 発言者 東松山市副市長 大沼勇吉 氏 豊岡市長 中貝宗治 ほか

